



はにわ館特別展
今年度は長谷川家を
紹介します！



【松阪の発掘された遺跡⑦：華開く仏教文化 ～古墳時代から飛鳥・奈良時代へ～】

6世紀中ごろまでに日本に伝わった仏教は皇族や豪族にも広まり、信仰されるようになりました。その結果、畿内中枢部では次々に寺院が建てられ、寺院の建設や仏像の制作などには渡来人の子孫があたりました。

この地域では、7世紀後半から8世紀にかけて嬉野地域の中村川流域に6カ所の寺院が建立されました。左岸に一志廃寺(嬉野一志町)・中谷廃寺・天花寺廃寺(嬉野天花寺町)が、右岸に上野廃寺(嬉野下之庄町)・嬉野廃寺(嬉野算所町)・須賀廃寺(嬉野須賀町)が立地します。また、隣接する津市の雲出川右岸には、班光寺廃寺・高寺廃寺(一志町)が立地します。当時の都以外の地方で、これほど寺院が密集するのはとても珍しい状況です。

このうち天花寺廃寺では、この時代の瓦が採集され、過去には礎石や塔心礎が地表に露出していたことが知られていました。昭和55年に実施された発掘調査では、寺域の東側に塔跡、西側に金堂跡と推定される遺構が確認され、大量の瓦のほか建物内の壁を飾った六角形埴土、塑像が出土し、この地に瓦葺の堂塔が並び建つ寺院が存在したことが明らかになったのです。

なぜこの地域に寺院が密集して建てられたのでしょうか？その謎を解くヒントは、古墳との関係がありそうです。この地域の主な古墳群と各寺院との位置関係を重ねてみると、図のようにうまく重なることがわかります。この地域の豪族たちはそれまでの古墳に代わって、自分たちの権力を示すため競って寺院を建てはじめたのではないのでしょうか。



今回紹介した寺院から出土した遺物の一部は、嬉野ふるさと会館内の「嬉野考古館」で展示していますのでぜひご覧ください。

【はにわ館特別展が始まります！「松阪商人のたのしみ—商家長谷川家にみる文芸と教養—」】

長谷川家の文化的側面に焦点を当て、長谷川家に伝わる膨大な資料の中から、歴代当主の美術品、書画、文芸資料を厳選して紹介します。

はにわ館特別展のイベント

(1) ミュージアムトーク(事前申込不要) 場所／はにわ館第2展示室
日 時／10月24日(土) 10時～11時
11月14日(土) 13時半～14時半

(2) ワークショップ(事前申込不要)

「長谷川家に伝わる火用心、酒用心を刷ろう」

日 時／11月7日(土) 場所／第3ギャラリー

①10時～11時②11時～12時③13時半～14時半④14時半～15時半

定 員／各15人(先着受付順) 参加費／500円

(2) 講演会(事前予約制)

「数寄者の世界 —伊勢商人・長谷川家所蔵資料の魅力—」

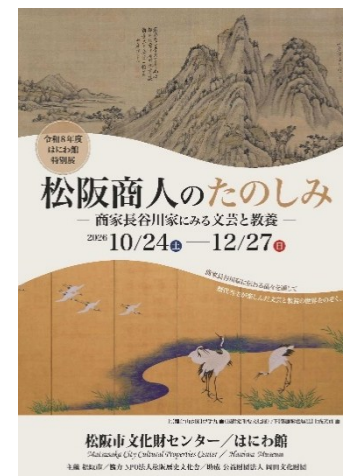
日 時／11月28日(土) 13時半～15時(受付13時～) 場所／第3ギャラリー

講 師／宮武慶之氏(同志社大学 京都と茶文化研究センター共同研究員)

定 員／70人(定員になり次第申込を締切ります)

申込期間／10月20日(火) 9時～11月20日(金) 17時

申込方法／Web または電話で文化財センターへ



▲Web 申込

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 ※特別展開催期間(10月24日～12月27日)は 入館料200円

18歳以下無料

開館時間9:00～17:00 入館は16:30まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」

第2展示室 はにわ館特別展 「松阪商人のたのしみ —商家長谷川家にみる文芸と教養—」

10月24日(土)～12月27日(日)

【ギャラリー】 入場無料

第1～3G ◆第67回 松阪市美術展覧会 第1部(絵画、彫刻・工芸)

10月 4日(日)～10月11日(日) 9時半～16時半 ※最終日は15時まで

第1～3G ◆第67回 松阪市美術展覧会 第2部(写真、書道)

10月25日(日)～11月 1日(日) 9時半～16時半 ※最終日は15時まで

< 10月の休館日 13日(火) 19日(月) >

【発行】松阪市文化財センター

【☎】0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【FAX】0598-26-7374

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

